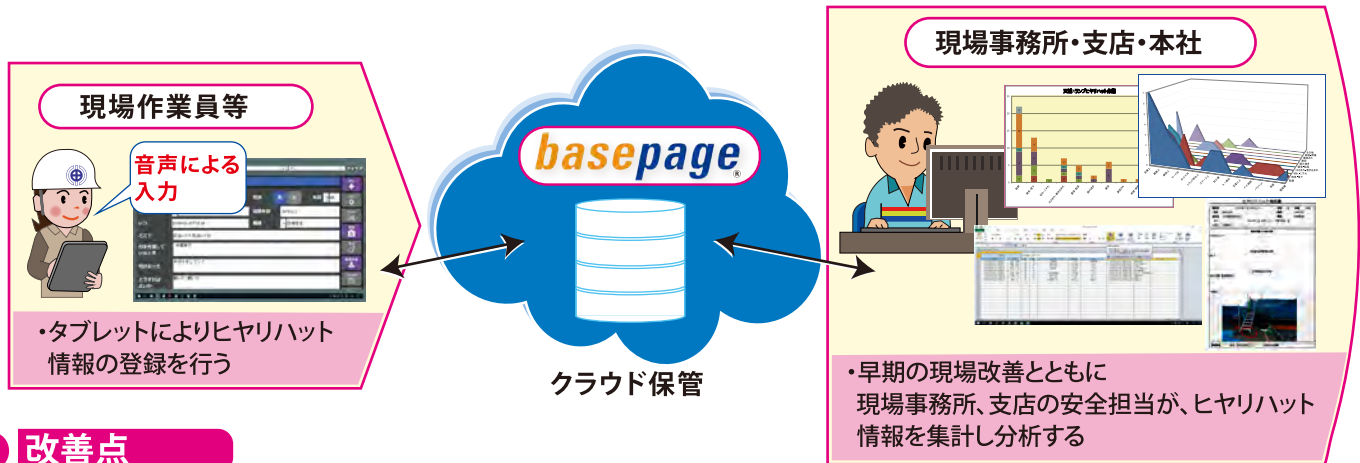


ヒヤリハット活動支援システム

目的

建設現場における事故防止のために、ヒヤリハットの段階での危険の芽を摘むことが重要で、長年多くの会社でヒヤリハット活動が行われています。しかしながら、ヒヤリハット事例の収集には、「ヒヤリハットの報告件数が増えない」「紙に書くのが煩わしい」「報告の内容（5W1H）と書式がバラバラなので後でまとめづらい」などの課題が出ています。

そこで、それらを解決すべく、情報共有クラウドサービス basepage を介した「音声認識 AI 技術を用いたヒヤリハット活動支援システム」を開発しました。主な改善点は次のとおりです。



改善点

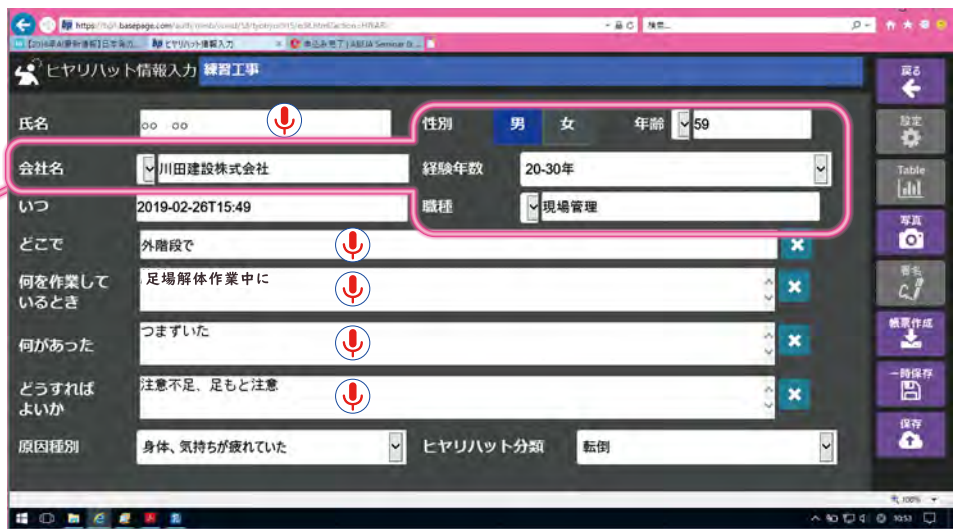
現状の手順	本システムの改善される手順
①. 帳票に手書き	①. タブレットに向かって音声入力
②. 5W1Hが不十分	②. プルダウンでの選択入力
③. 説明用ポンチ絵が欲しい	③. 写真撮影・施工図利用可、書き込み可
④. タイムリーな活用が出来ていない	④. クラウド利用・タイムリーな情報共有
⑤. 管理・分析に手がかかる	⑤. EXCEL表出力、分析対応容易

使い方・入力

1. 現場では、音声入力とタブレットでその場で簡単にヒヤリハット報告

タブレット上に表示される画面に入力するだけの簡単操作。音声入力対応で煩わしい文字入力が不要。

また2回目からの報告時は、「性別」「年齢」「会社名」「経験年数」「職種」等の基礎情報は、データベースから自動入力されます。



音声認識AI技術を用いた ヒヤリハット活動支援システム

2. 問題箇所を撮影した写真をそのまま ヒヤリハット報告書に添付 (朱書き機能付)

ヒヤリハットの状況を説明する写真をタブレットで撮影し、朱書きを加えてそのまま報告書に添付できます。

また、事前に現場見取図を保存しておく、朱書きにより場所指定が容易にできます。



電光板によるヒヤリハット揭示 ↓



活用例

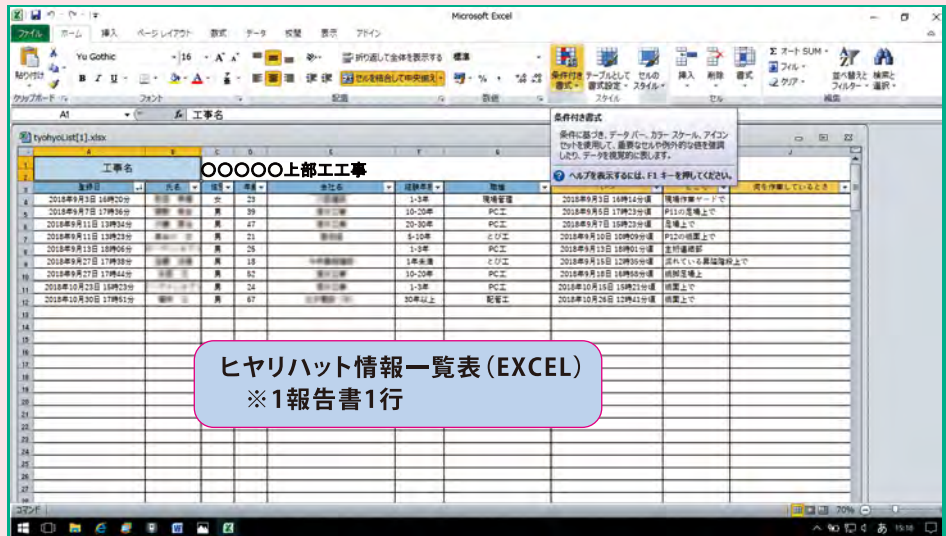
ヒヤリハット報告書 (個別帳票・一覧表) の一括作成

現場で入力したヒヤリハット情報をタイムリーに現場内で改善に結びつけられます。また、現場事務所・支店で、ヒヤリハット報告書 (個別帳票・一覧表) を一括作成することができ、分類・整理が手間をかけずに行えます。

個別帳票



一覧表



分析結果の具体例

